

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年12月13日(2012.12.13)

【公開番号】特開2010-114441(P2010-114441A)

【公開日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-245745(P2009-245745)

【国際特許分類】

H 01 L 21/52 (2006.01)

H 01 L 21/50 (2006.01)

H 01 L 21/67 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/52 F

H 01 L 21/50 C

H 01 L 21/68 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月19日(2012.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

孔(6)を有する表面を備えるカバープレート(3)を有し、真空状態にすることが可能なチャンバ(2)と、

前記チャンバ(2)の内部に配置され、前記孔(6)内に突出し、前記カバープレート(3)の前記表面(9)に対して垂直もしくは斜角に伸長する方向に変位可能な複数のプレート(8)と、

モータ(14)、および前記モータ(14)により所定の経路(17)に沿って2個の位置間を前後に移動可能なピン(13)を備える駆動機構(12)を備える、前記プレート(8)を変位するための駆動手段とを備え、

前記プレート(8)の各々は経路状の開口部(16)を有し、前記ピン(13)は前記プレート(8)の各々における前記経路状の開口部(16)内を誘導され、前記経路状の開口部(16)は前記ピン(13)が前記経路(17)に沿って移動すると前記プレート(8)が所定の手順で前述の方向に変位するようプレート(8)ごとに異なる、ダイエジェクタ(1)。

【請求項2】

前記駆動手段は更に、前記プレート(8)を前述の方向に同時に変位可能な駆動機構(11)を備える、請求項1に記載のダイエジェクタ(1)。

【請求項3】

前記プレート(8)は、前記経路状の開口部(16)を有し、前記チャンバ(2)に配置され、前記駆動機構(12)に結合される第1の部分(8A)と、前記第1の部分(8A)に挿入される第2の部分(8B)とを備える、請求項1もしくは請求項2に記載のダイエジェクタ(1)。